

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	279	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	木造住宅耐震化補助事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 21 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	III 安全な暮らしの確 保	1 防災・危機管理	(1) 防災対策推進	
関連する個別計画	湯河原町耐震改修促進計画				
目的	旧耐震基準(昭和56年5月以前に建築された建物)で建築された町内の木造住宅の所有者に対し耐震改修費等の補助を行い、町内の住宅の耐震化を促進する。				
対象	町内に住宅を所有している方。				
内容	昭和56年5月以前に建築された町内の木造住宅の耐震化を図るため、耐震診断に係る費用・実施設計および耐震改修に係る費用を補助する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	1,077,000	895,000	1,200,000		
	人件費	常勤職員	63,786	65,990	94,062	
		非常勤職員等				
		人件費合計	63,786	65,990	94,062	
	総事業費	1,140,786	960,990	1,294,062		
財源内訳	国庫支出金	576,000	447,500	600,000		
	県支出金	137,000	106,000	254,000		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	427,786	407,490	440,062		
財源合計	1,140,786	960,990	1,294,062			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
補助金交付額	補助金を活用し、耐震化が図られるため	千円	1,077	895	1,200	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
補助金交付件数	耐震化率の向上につながるため	件	7	4	8	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	B	本来は、住宅所有者が自主的に実施するものだが、町内の住宅の耐震化を行うことは住民の生命や財産を守ることに繋がるので町で実施すべき事業である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	事業開始より耐震診断の補助を12件行なっており、補助制度を通じて住宅の耐震性に対する注意・関心を促した。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	事業開始より耐震改修の補助を5件行っており、町内の住宅の一部耐震化が図られた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	町内に対象建築物を所有していれば、町内の住民票がなくても補助対象としており、より多くの住宅に補助ができるようにしている。

平成26年度までの改善点	無料耐震相談を行い、耐震化の周知・動機づくりを図った。
--------------	-----------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	国の交付金が平成27年度で打ち切りとなるが、町民の安全を守るため継続の方向で行う。また、国には引き続き交付金の要望をする。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町内の住宅の耐震率の向上を図る為、本事業制度を継続することが望ましい。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

<ul style="list-style-type: none"> PR方法を検討する必要がある。 必要性があるものの、推進できないのであれば、事業廃止も検討すべきと考える。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	1010	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	駅前広場整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 22 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P106 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	1 土地利用	(2) 駅前・まち並みの 整備	① 駅前地域の整備
関連する個別計画					
目的	本町の重要な玄関口である駅前広場について、温泉観光地にふさわしい湯けむりの感じられる空間として整備する。				
対象	町民・駅利用者・鉄道、バス、タクシー事業者				
内容	駅前広場の整備を実施するため、平成23年の駅前広場整備事業基本計画、平成24年度の駅前広場整備事業基本設計に引き続き、平成25年度は駅前広場整備事業実施設計を策定し、それに基づき平成27年度より3箇年で整備を実施する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	16,453,500	8,597,134	273,864,000		
コスト	人件費	10,894,800	11,270,000	10,666,600		
	非常勤職員等					
	人件費合計	10,894,800	11,270,000	10,666,600		
総事業費	27,348,300	19,867,134	284,530,600			
財源内訳	国庫支出金	6,000,000	0	108,740,000		
	県支出金	0	0	141,900,000		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	21,348,300	19,867,134	33,890,600		
財源合計	27,348,300	19,867,134	284,530,600			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
整備事業費			千円	16,453	8,597	273,864
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
整備率	総事業費		%	2.0	1.0	12.8
	841034千円					

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	湯河原駅前広場は、町で都市計画決定をした公共施設であるため、整備にあたっては町が実施すべきである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	駅前広場整備を実施するために必要な基本計画、基本設計、実施設計を平成26年度までに策定を完了したので、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	駅前広場を温泉観光地にふさわしい湯けむりの感じられる空間として整備することで、駅周辺のにぎわいが創出され、観光客の増加が見込まれる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	駅前広場は、町民等が平等に利用する施設であるため、駅前広場の整備に係る受益の機会は均等である。

平成26年度までの改善点	工事発注を行ったが、入札参加者が辞退したため不調となったので仮設計画の見直しにかかる委託契約を行った。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	工事発注を再度行うため仮設の見直しと労務費等の単価を見直し執行を行ったが、不調におわったので三度入札手続きを行うため実勢価格の見直しを行ったうえで入札の手続きを行う予定。
平成28年度以降の方向性	町民・駅利用者及び近隣商店等の理解が得られるよう施工を進めていく。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	平成29年度事業完了を目指し、安全で利用者にも配慮しながら継続して進める必要がある。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	1203	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	陶板レリーフ整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P106 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	1 土地利用	(2) 駅前・まち並みの 整備	① 駅前地域の整備
関連する個別計画					
目的	新たに整備される駅前広場に設置し、まちの玄関口に彩りを加えるとともに、温泉観光地である湯河原町のイメージアップに寄与するもの。				
対象	町民及び駅利用者				
内容	町内の小中学生に参加してもらい、陶板レリーフ作品を作製し、駅前広場整備にあわせて、バスロータリー側の鍛冶屋行きバス停付近に設置するもの。また、本事業は町村合併60周年記念事業として実施するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	0	0	6,740,000		
	人件費	常勤職員	0	0	627,080	
		非常勤職員等	0	0	0	
		人件費合計	0	0	627,080	
	総事業費	0	0	7,367,080		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	0	0	7,367,080		
	財源合計	0	0	7,367,080		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
事業費		千円	0	0	6,740	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
整備率	総事業費	%	0.0	0.0	58.4	
	11,541千円					

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		平成27年度からの事業
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		平成27年度からの事業
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		平成27年度からの事業
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		平成27年度からの事業
平成26年度までの改善点	平成27年度からの事業		

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	全ての児童生徒に作品を作製してもらうことを行うもの。
平成28年度以降の方向性	作品の設置台の実施設計を行い、駅前広場整備に併せて整備を進める。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	駅前整備と併せた事業となり、平成28年度の事業完了まで継続して進める必要性がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・町村合併60周年事業に位置付けられているので、計画どおりに進める必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	1133	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	(仮称)湯元通り街なみ環境整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P106 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	1 土地利用	(2) 駅前・まち並みの 整備	② 温泉場地区のまち並 整備
関連する個別計画					
目的	藤木橋からこごめ橋までの間に位置する湯元通りを中心に街なみの活性化を図る為全体計画の策定、通り沿いの建築物修景整備の助成等を実施するもの。				
対象	湯元通りまちなみ協定区域内の土地建物所有者				
内容	「湯河原町景観計画」を踏まえ、観光客が散策したくなるような温泉場の情緒を残したまち並みの保全、創出を図るもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	0	6,166,800	2,536,000		
	人件費	常勤職員	0	1,979,700	1,881,240	
		非常勤職員等	0			
		人件費合計	0	1,979,700	1,881,240	
	総事業費	0	8,146,500	4,417,240		
財源内訳	国庫支出金	0	3,083,000	1,215,000		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	0	5,063,500	3,202,240		
	財源合計	0	8,146,500	4,417,240		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
検討会の開催数	まちなみ協定案の内容等 について検討したため	回	0	13	2	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
まちなみ協定 同意者の割合	まちなみ協定締結の指標 となるため(22件)	%	0.0	95.5	100.0	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	B 地権者の方が主体となって実施する事業であるが、事業の実施にあたって町は助成金等の支援を行う。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 打合せを重ねることにより住民の意識が高まり、まちなみ協定を結ぶことができたので十分な効果は得られた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 平成26年度にまちなみ協定を締結することができ、一定の成果をあげることができた。今後は施設整備に着手する必要がある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 湯元通り地区における事業であり、修景助成などの直接的な受益は協定に同意した方に限定される。

平成26年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	町が行う道路の美装化等の公共施設の整備について協議を行うとともに、住民の今後の取り組みについて支援を行う。
平成28年度以降の方向性	道路の美装化等の公共施設の整備を実施し、引き続き土地所有者等が行う修景整備に対して支援を行う。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	平成26年度から国の補助事業である街なみ環境整備事業において5箇年事業となっており、景観形成には時間が必要なことから継続する必要がある。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	1198	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	大規模建築物耐震化補助事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	01	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	III 安全な暮らしの確 保	1 防災・危機管理	(1) 防災対策推進	-
関連する個別計画	湯河原町耐震改修促進計画				
目的	建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正により、旅館などの不特定多数の方が利用する大規模施設について、耐震診断を実施することが義務付けられたため国、県及び町が協力し、事業者に対し補助を行うもの。				
対象	床面積が5,000㎡を超える旅館などの不特定多数の方が利用する大規模施設				
内容	大規模施設の耐震化を促進し、安全・安心な観光地づくりを図る。また、災害時には、避難者を受け入れていただけるため、防災拠点の確保ができるもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	0	0	8,576,000		
	人件費	常勤職員	0	0	627,080	
		非常勤職員等	0	0		
		人件費合計	0	0	627,080	
	総事業費	0	0	9,203,080		
財源内訳	国庫支出金	0	0	4,288,000		
	県支出金	0	0	2,144,000		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	0	0	2,771,080		
	財源合計	0	0	9,203,080		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
補助金交付額	補助金を活用し、耐震化が図られるため	千円	0	0	8,576	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
補助金交付件数	耐震化率の向上につながるため	件	0	0	1	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		平成27年度からの事業
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		平成27年度からの事業
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		平成27年度からの事業
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		平成27年度からの事業

平成26年度までの改善点	平成27年度からの事業
--------------	-------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	平成27年度は、対象施設1件が実施する耐震診断について補助金を交付するもの。
平成28年度以降の方向性	耐震改修促進法の規定により平成27年12月末までに耐震診断を行わなければならない対象施設1件は平成27年度中に診断を実施するため事業完了。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	平成27年12月末までに耐震診断を行わなければならない対象施設1件が耐震診断を行ったので事業は完了
------	----	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	・平成27年度の単年度事業。
------	----	----------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	284	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	湯河原自然郷整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	平成 9 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P34 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	① 県立奥湯河原自然公園の整備
関連する個別計画	湯河原自然郷整備基本計画				
目的	県が策定している公園計画に沿って、県・町・民間の役割を明確にした上で、魅力ある自然公園として整備するもの。				
対象	公園利用者				
内容	池峯のもみじや城山のあじさいの整備及び維持管理を行うもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	2,671,355	2,481,299	2,674,000		
人件費	常勤職員	318,930	329,950	313,540		
	非常勤職員等	0	0	0		
	人件費合計	318,930	329,950	313,540		
総事業費	2,990,285	2,811,249	2,987,540			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	2,990,285	2,811,249	2,987,540		
財源合計	2,990,285	2,811,249	2,987,540			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
維持管理費	具体的な指標となるため	千円	2,298	2,098	2,274	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
維持管理費	具体的な指標となるため	千円	2,298	2,098	2,274	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	湯河原自然郷整備基本計画の中に町の役割として位置づけられている為実施する必要性は高い。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B	もみじの郷やあじさいの郷はハイキングコースの一つとして活用されており効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	主に草刈や補植等の維持管理を行っており、事業の目的である自然公園としての整備としては不十分な面がある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	町民等が平等に利用することが可能な場所であるため、受益の機会は均等である。

平成26年度までの改善点	園路の歩きづらい場所については、随時補修する等維持管理に重点を置いている。
--------------	---------------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	引き続き維持管理を行っていくもの。
平成28年度以降の方向性	城山のあじさいについては、薬化病の状況をふまえ、あじさいの補植を行い、郷の再生を図っていく。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	池峯の整備は引き続き管理を中心に行うが、城山のあじさいについては、薬化病の状況を踏まえ、再生が必要と考える。
------	---------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	・城山のあじさいについて、薬化病の状況を踏まえ、再生を検討。
------	---------	--------------------------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	920	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	公園遊具更新事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	平成 22 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	3 公園・緑地水辺	(1) 公園の整備	① 都市公園の整備
関連する個別計画					
目的	経年により劣化した遊具を更新することにより、公園における遊び場の安全性を高め、利用者楽しく安心して安全に利用していただくことを目的とする。				
対象	公園利用者				
内容	町内の26の公園に設置されている遊具を対象に点検を行い、遊具の安全に関する基準に適合していないものや経年による劣化により、修繕しても安全基準を満たさない遊具について計画的に更新している。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	1,963,500	1,371,600	3,230,000		
人件費	常勤職員	95,679	98,985	94,062		
	非常勤職員等	0	0	0		
	人件費合計	95,679	98,985	94,062		
総事業費	2,059,179	1,470,585	3,324,062			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	2,059,179	1,470,585	3,324,062		
	財源合計	2,059,179	1,470,585	3,324,062		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
更新遊具数	安心安全な遊具活用を 図るため		基	3	2	1
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A 誰もが利用できる公園遊具は、地域の住民に様々な利用をされているが、子供にとっては遊び場であり、町としては、安心・安全な遊具を設置する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 採算性を求める事業ではないが、遊具の不備による大きな事故などはないことから、公園利用者の安全な利用が図られており、効果は得られている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 遊具の不備による大きな事故はなく、公園利用者の安全性が確保されているため、目的に対する一定の成果は得られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 遊具の種類や数など相違はあるが、公園利用者の受益の機会は一定の均等が図られている。

平成26年度までの改善点	鉄製の遊具を更新する際には、出来るだけステンレス製を採用している。
--------------	-----------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	人気のある大型遊具(ローラー滑り台)を補修し、危険を排除するとともに健康遊具を設置する。
平成28年度以降の方向性	公園における遊び場の安全性を高める遊具の更新を行っているが、更新する遊具の選定について、健康遊具の設置も検討したい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	計画的に進めており、また新たな健康遊具設置にも取り組んでいるので継続が必要。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数等の検証を行う必要がある。 ・計画的に事業実施すべきと考える。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	971	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	(仮称)湯河原海辺公園(広場公園)整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	平成 24 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	3 公園・緑地水辺	(3) 水辺の整備	① 千歳川・藤木川や新 崎川の護岸整備
関連する個別計画	湯河原町緑の基本計画				
目的	市街地においても緑の恵みを楽しむよう、新崎川・千歳川・藤木川沿いに潤い空間を創造するとともに、国道135号沿道・海辺空間においても、さまざま緑化による潤いネットワークの形成を進めることを目的とする。				
対象	公園利用者				
内容	(仮称)湯河原海辺公園を、水辺レクリエーションの場となる海浜緑地帯の形成を図る公園として整備する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	623,528	54,183,600	17,694,000		
	人件費	常勤職員	637,860	659,900	627,080	
		非常勤職員等	0	0	0	
		人件費合計	637,860	659,900	627,080	
総事業費	1,261,388	54,843,500	18,321,080			
財源内訳	国庫支出金		16,006,000	3,817,000		
	県支出金					
	地方債		6,300,000	10,500,000		
	その他特定財源					
	一般財源	1,261,388	32,537,500	4,004,080		
財源合計	1,261,388	54,843,500	18,321,080			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
整備面積	各年度の整備面積	m ²	0	3,072	1,766	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
整備済み面積	整備計画地全体に対する 進捗となるため	m ²	0	3,072	4,838	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 公園(公共施設)の整備であるため整備に当たっては町で実施すべきである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 既に整備を完了した部分については、町民等に利用いただいております、効果は得られています。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A 町民の憩いの場だけでなく有事には防災的要素も併せ持った施設もあることから成果は十分に得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 町民等が平等に利用することが可能な場所であるため、受益の機会は均等である。

平成26年度までの改善点	利用者の安全確保のため、計画より多く照明器具を設置した。
--------------	------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	防犯カメラを随所(5箇所)に設置した。また、ドッグランの整備を予定している。
平成28年度以降の方向性	平成27年度に整備を完了するため、平成28年度以降は、適正な維持管理及び水辺レクリエーションの場となるよう活用を図る。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	平成28年度以降の維持管理は他の公園と同様、経常経費にて行うので完了。
------	----	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	・平成27年度で完了。
------	----	-------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	287	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	海浜公園プール維持修繕事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	03	事業開始年度	昭和 61 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P64 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくり	Ⅱ 福祉の充実	2 児童福祉・子育て支援	(1) 子どもたちが生き生きと育つための環境づくり	② 健全な遊び場や交流の場の確保
関連する個別計画					
目的	海浜公園は町内で唯一のプールであり、夏季の遊び場や交流の場として運営するため維持修繕を行うもの。				
対象	プール利用者				
内容	プールを運営するため鉄部の塗装や老朽化した底板の補修などプール全般に必要な施設の修繕を行うもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	2,613,450	2,449,440	2,500,000		
	人件費	常勤職員	637,860	659,900	627,080	
		非常勤職員等	0	0	0	
		人件費合計	637,860	659,900	627,080	
	総事業費	3,251,310	3,109,340	3,127,080		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	3,251,310	3,109,340	3,127,080		
	財源合計	3,251,310	3,109,340	3,127,080		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
開場日数		プール稼働数を表す指標であるため	日	50	44	45
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
プール入場者		プール有効活用の指標となるため	人	11,640	9,506	10,450

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 誰もが利用できる公園内プールは、地域の住民や観光客に様々な利用をされているが、夏季の子供の遊びの場であり、町としては、安心・安全なプール施設を維持する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 採算性を求める事業ではないが、プール施設の不備による大きな事故などはないことから、プール利用者の安全な利用が図られており、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A プール設備の不備による大きな事故はなく、プール利用者の安全性が確保されているため、目的に対する成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 町民や観光客等プール利用者に対して、利用者の受益の機会は一定の均等が図られている。

平成26年度までの改善点	プールサイドにおける安全性を高めるためプールサイド床のノンスリップ塗装の割合を多くした。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	プール更衣室木製扉改修
平成28年度以降の方向性	プール内部の塗装、プール内のトイレの改修を検討

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	プールの修繕は定期的に行う必要がある。また、プール開設より約30年経過しているので優先順位を考えた改修を検討する必要がある。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・プール自体の必要性を検討すべき、必要であれば、計画的な改修を実施すべきと考える。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	289	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	緑のまちづくり事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	04	事業開始年度	昭和 59 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P110 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	3 公園・緑地水辺	(2) 緑化の推進	① まちの緑化の推進
関連する個別計画	湯河原町緑の基本計画				
目的	町を美しく彩り、訪れる多くの人々を優しく迎えるために、駅前や主要な道路で花 いっぱい緑化、要所要所の緑化を進め、花と緑に彩られた美しい都市景観を形 成するもの。				
対象	町民及び来町者				
内容	花を購入し一部、ボランティア協会の協力を得て町内各所にあるプランターや花壇 に植栽を行ったり、街路樹の剪定等維持管理を行うもの。また、生垣設置に伴う補 助も行っている。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	2,271,120	2,276,918	2,303,000		
コスト 人件費	常勤職員	1,913,580	1,979,700	1,881,240		
	非常勤職員等	0	0	0		
	人件費合計	1,913,580	1,979,700	1,881,240		
総事業費	4,184,700	4,256,618	4,184,240			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	4,184,700	4,256,618	4,184,240		
	財源合計	4,184,700	4,256,618	4,184,240		
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
街路樹の剪定回数	街路樹446本		回	2	2	2
花の購入株数	具体的な指標となるため		株	3090	2748	2698
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
街路樹の剪定回数	街路樹446本		回	2	2	2
花の購入株数	具体的な指標となるため		株	3090	2748	2698

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A 町内各所の公共のプランターや花壇に花を植栽し、街路樹などの公共施設の維持管理であるため、町が実施すべきである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 継続的に街路樹を維持管理していくことで、都市の景観が保たれるため効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B プランターや花壇の花や街路樹は、美しい都市景観の形成に寄与しており、成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A 主に駅前や主要道路での施設となるが、受益の機会は均等である。

平成26年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	継続した維持管理を実施する。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	プランターや花壇及び街路樹の維持管理は、景観形成には必要不可欠である。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・事業効果を検討すべきと考える。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	291	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	湯河原さつきの郷づくり事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	04	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P108 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	2 景観	(2) 花のまちづくりの 推進	① 花の郷づくり事業の推 進
関連する個別計画	湯河原町緑の基本計画				
目的	四季彩のまちづくりの一環としてさつきの郷を花の郷として整備及び維持管理するもの。				
対象	町民及び来町者				
内容	さつきの植栽は完了しているため、剪定や除草などの維持管理を行うもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	4,725,131	4,611,035	5,050,000		
	人件費					
	常勤職員	159,465	164,975	156,770		
	非常勤職員等					
	人件費合計	159,465	164,975	156,770		
	総事業費	4,884,596	4,776,010	5,206,770		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	4,884,596	4,776,010	5,206,770		
	財源合計	4,884,596	4,776,010	5,206,770		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
剪定回数		具体的な指標となるため	回	2	2	2
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
さつき祭りの来場者			人	--	2,480	2,941

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A さつきの郷は、町で整備した花の郷であるため今後の整備や維持管理も町が実施すべきである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	B 主に除草などの維持管理を行っており、施設の拡充などは、行っていないが、一定の効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 毎年一回さつき祭りが開催され、来園者に花の郷として楽しんでいただいているため成果はある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 町民等が平等に利用することが可能な場所であるため、受益の機会は均等である。

平成26年度までの改善点	さつき花芽を良くするため、刈込及び施肥を行った。
--------------	--------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	さつきの育成を促進するため、通気性の改善を図る。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	四季彩のまちづくりの一環としてさつきの郷の維持管理を継続して行う必要がある。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	292	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	星ヶ山管理事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	04	事業開始年度	平成 12 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P108 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 計画的な土地利 用の推進	2 景観	(1) 美しい景観の形成	② 自然環境と調和した景 観の保全・創出
関連する個別計画	湯河原町緑の基本計画				
目的	さつきの郷づくり用地として、農事法人南郷協同組合から借地する133,500㎡の借地料及びその区域の優れた景観を保全するためのもの。				
対象	公園利用者				
内容	自然環境保全のため、維持管理をし緑地保全を継続するため農事法人南郷協同組合に委託するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
人件費	常勤職員	159,465	164,975	156,770	156,770	156,770
	非常勤職員等	0	0	0	0	0
	人件費合計	159,465	164,975	156,770	156,770	156,770
総事業費	1,659,465	1,664,975	1,656,770	1,656,770	1,656,770	1,656,770
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	1,659,465	1,664,975	1,656,770	1,656,770	1,656,770
財源合計	1,659,465	1,664,975	1,656,770	1,656,770	1,656,770	1,656,770
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
草刈回数	具体的な指標となるため		回	2	2	2
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
草刈回数	具体的な指標となるため		回	2	2	2

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	A さつきの郷づくり用地の借地料とその周辺区域の維持管理を行うものであり、町が委託にて実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 継続的に維持管理を実施することで緑地の保全が図られ、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 主に維持管理を行うものであるが、優れた景観の保全に対して一定の成果が得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 農事法人南郷協同組合の土地であるが、受益の機会は公園利用者に対して均等である。

平成26年度までの改善点	特になし
--------------	------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	さつきの郷を維持するために、用地の借上げ等を継続して実施する。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	用地の借上げ及び敷地の維持管理は、さつきの郷を維持するためには必要不可欠である。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・茶園から星ヶ山の頂上に向かう道路の草刈りを検討する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年7月13日作成

事業番号	1193	担当部課	まちづくり部 都市計画課							
事務事業名	多目的広場整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	06	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P128 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(1) スポーツ施設の充 実	① スポーツ施設の利用 促進・運営充実
関連する個別計画					
目的	スポーツを行うにあたり利用者が使いやすい施設となるよう整備するもの。				
対象	多目的広場利用者				
内容	多目的広場において、スポーツを行う際必要な設備等を整備するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費	0	0	2,479,000		
	人件費	常勤職員	0	0	62,708	
		非常勤職員等	0	0	0	
		人件費合計	0	0	62,708	
	総事業費	0	0	2,541,708		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	0	0	2,541,708		
	財源合計	0	0	2,541,708		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
フェンス購入数		具体的な指標となるため	枚			85
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		平成27年度からの事業
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		平成27年度からの事業
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		平成27年度からの事業
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		平成27年度からの事業

平成26年度までの改善点	平成27年度からの事業
--------------	-------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成28年度以降の方向性	今後必要な設備の修繕等行っていく

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	今後の必要な設備の修繕等については、経常経費にて行うので完了。
------	----	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	・平成27年度の単年度事業。
------	----	----------------